産地パワーアップ事業事業評価報告書

都道府県名　　山梨県

1　産地パワーアップ計画

（１）生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状 面積	現状 面積 単位	現状 生産量、出荷量又は処理量	現状 生産量、出荷量、単位	目標 年度	目標 面積	目標 面積 単位	目標 生産量、出荷量、又は処理量	目標 生産量、出荷量、単位	実績 年度	実績 面積	実績 面積 単位	実績 生産量、出荷量、又は処理量	実績 生産量、出荷量、単位	事後評価の検証方法（※定量的な検証ができること。）	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
北杜市農業再生協議会	6	武川	水稲	トラクター（1台）のリース導入による人件費減によるコスト低減	生産コストの10%以上の削減	H27	101,284円/10a	18	ha			H30	90,290円/10a	20	ha			H30	83,648円/10a	22.3	ha		現金出納帳、作業日誌、決算書等により検証	160	面積を目標よりも2haも拡大し、生産コストを抑えることが出来た。地域農業を支える法人組織として、今後も期待する。	目標達成率が160%と目標を達成することができた。	

（２）販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状	現状 面積	現状 面積 単位	現状 生産量又は出荷量	現状 生産量又は出荷量 単位	現状 価格(販売単価)	現状 価格(販売単価) 単位	現状 生産コスト	現状 生産コスト 単位	目標 年度	目標	目標 面積	目標 面積 単位	目標 生産量又は出荷量	目標 生産量又は出荷量 単位	目標 価格(販売単価)	目標 価格(販売単価) 単位	目標 生産コスト	目標 生産コスト 単位	実績 年度	実績	実績 面積	実績 面積 単位	実績 生産量又は出荷量	実績 生産量又は出荷量 単位	実績 価格(販売単価)	実績 価格(販売単価) 単位	実績 生産コスト	実績 生産コスト 単位	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 事業実施前年度	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 単位	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 目標年度	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 単位	補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法（※定量的な検証ができること。）	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
韮崎地域農業再生協議会	1	新府・大草	果樹（モモ）	モモの選果施設整備 新府：透過式光センサー2台、演算処理装置、排出制御装置1式 大草：透過式光センサー1台、重量選別装置、計数処理装置1式	販売額の10%以上の増加	H27	310,443,188円	51.2	ha	533,100	kg	582	円	-		H30	347,468,060円	54.1	ha	579,100	kg	600	円	-		H30	339,320,468	53.1	ha	545,312	kg	622	円	-		546	円	614	円	0.889	301,655,896	梨北農業協同組合新府共選所、大草共選所におけるモモの販売額実績 JA梨北全体の単価で補正	-23.7	H30年度は、果実肥大期の天候不順や台風の発生が多く、収量が減少した。事業導入により販売単価の上昇が認められたものの、目標には届かなかった。今後は導入したセンサーのさらなる有効活用や品質管理対策をより徹底し、他産地に負けない高品質なもの生産を行い販売額の増加に繋がるよう指導していく。 H30年度は台風等の天候不順で収量が減少したことから、天候に応じた栽培管理指導を関係機関と連携して行うように指導し、高品質果実の安定生産、収量増加に繋がるようにしていく。	事業導入により、販売単価の上昇が認められたものの、目標には届かなかった。今後は導入したセンサーのさらなる有効活用や品質管理対策をより徹底し、他産地に負けない高品質なもの生産を行い販売額の増加に繋がるよう指導していく。 H30年度は台風等の天候不順で収量が減少したことから、天候に応じた栽培管理指導を関係機関と連携して行うように指導し、高品質果実の安定生産、収量増加に繋がるようにしていく。	
南アルプス市地域農業再生協議会	2	南アルプス市	果樹（ブドウ）	ブドウの保冷施設の整備 西野：保冷施設　50㎡ ブドウ用モバイルセンサーのリース導入 西野、櫛形、三恵：携帯用透過式非破壊糖度計測器　3式	販売額の10%以上の増加	H27	164,730,316円	10.59	ha	134,833	kg	1,222	円	-		H30	184,539,875円	10.59	ha	134,833	kg	1,369	円	-		H30	449,313,728	10.59	ha	286,909	kg	1,566	円	-		1,191	円	1,518	円	0.785	#########	巨摩野農業協同組合管内におけるブドウ（シャインマスカット）の販売額実績	948.9	モバイルセンサー導入により、適正な収穫時期を把握することが可能となり、市場へ安定して作物を供給できるようになったことから、市場の評価が高まった。また、氷感設備導入により、シャインマスカットの出荷時期を延長することが可能となったことから、差別化販売が可能となり、収益増に繋げることができた。以上のことから、目標達成することができた。	地域協議会が事業の進捗状況を確認する等して、事業で導入したものが効果的に活用されたことにより、目標達成することができた。	
南アルプス市地域農業再生協議会	13	南湖	野菜（イチゴ・トマト）	施設野菜産地の形成の推進 ①トマトの産地化に向けた取組 （【整備】生産技術高度化施設） ②イチゴの産地化に向けた取組 （【機械リース】暖房設備一式、養液栽培設備一式、【資材】イチゴハウス本体資材導入一式（パイプ、被覆資材、カーテン、遮光ネット等））	販売額の10%以上の増加	H27	18,566,879円（※）	0	ha							H30	40,672,970円	1	ha							H30	46,166,554円	1	ha												46,011,463円	各農業者の販売額実績を合算（販売額実績は販売伝票等により算出） ※現状値（平成27年度）18,566,879円の算出方法 ①【トマト】 収量4720kg/10a×価格968円/4kg×面積2688㎡＝3,070,341円（データ元：H26農林水産統計冬春トマト） ②【イチゴ】 収量5000kg/10a×価格1219円/kg×面積2542.5㎡＝15,496,538円 （データ元：山梨県経営指標（イチゴ（促成・養液・観光）））	124	イチゴ：取組主体の努力（営業による販路開拓・栽培技術の習得等）により当初の目標を大幅に上回ることができたことは評価できる。 トマト：厳しい気象条件や市場価格の低迷により、目標へは未達であるが、栽培技術の習得への意欲は評価できる。今後も継続して産地化・販売額ＵＰに努めてほしい。 全体：取組主体の努力により、一定の成果を上げることができた。今後も施設野菜の産地化に向けての取り組みを続けてほしい。	目標達成率が124%と目標を達成することができた。	
北杜市農業再生協議会	6	武川	水稲	色彩選別機一式のリース導入による高品質化	販売額の10%以上の増加	H27	174,600円/10a	1	ha							H30	203,700円/10a	8	ha	-		-		-		H30	160,878円/10a	8	ha	-		-		-		15,993	円/60kg	18,061	円/60kg	1	41,572円/10	販売伝票、販売証明書等により検証 農林水産省米の相対取引価格（山梨　コシヒカリ）より地域の価格を算出。	-113	無農薬、有機栽培など付加価値の高い栽培方法により生産しているため、価格設定の見直しを促していく。	天候不順等の影響により、収量が減少し、販売額伸びず、目標を達成できなかった。今後は関係機関と連携し、天候に応じた栽培管理を栽培指導を徹底することで、品質向上・高付加価値化を図る。	
昭和町農業再生協議会	14	中巨摩郡昭和町押原	野菜（イチゴ）	施設野菜産地の拡大 ①収益性の高い施設野菜の作付面積拡大 ②集客力の高い立地を活かした観光農園の規模拡大による販売額の増加 （【機械リース】暖房機一式、【資材】パイプハウス（間口6m×4連棟×奥行37.5m）×1棟、900㎡）、養液栽培ベンチ一式）	販売額の10%以上の増加	H27	25,311,431円	0.42	ha	-		-		-		H30	30,628,631円	0.51	ha	-		-		-		H30	26,290,298円	0.51	ha	-		-		-		-		-		-	-	販売伝票等で確認する。 観光イチゴ園や直売場での販売のため市場の影響は受けないため補正は行わない。	18	育苗時期の猛暑等により生産量が予定を下回ったため目標を達成できなかった。次年度は、目標達成に向けて、栽培管理を改善するとともに、観光いちご園の集客数の増加にむけた取り組みをしていく必要があるため、農務事務所等による指導を行いつつ、地域協議会を通じて経過を報告してもらい、取組内容を注視していきたい。	育苗時期の猛暑等により生産量が予定を下回ったため目標を達成できなかった。次年度は、目標達成に向けて、栽培管理を改善するとともに、観光いちご園の集客数の増加にむけた取り組みをしていく必要があるため、農務事務所等による指導を行いつつ、地域協議会を通じて経過を報告してもらい、取組内容を注視していきたい。	

（３）契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状	現状 面積	現状 面積 単位	現状 総生産量又は総出荷量	現状 総生産量又は総出荷量 単位	現状 契約取引量	現状 契約取引量 単位	目標 年度	目標	目標 面積	目標 面積 単位	目標 総生産量又は総出荷量	目標 総生産量又は総出荷量 単位	目標 契約取引量	目標 契約取引量 単位	実績 年度	実績	実績 面積	実績 面積 単位	実績 総生産量又は総出荷量	実績 総生産量又は総出荷量 単位	実績 契約取引量	実績 契約取引量 単位	事後評価の検証方法（※定量的な検証ができること。）	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
北杜市農業再生協議会	9	長坂	そば	トラクター（1台）のリース導入し、規模拡大、品質の均一化による契約割合の増加	契約栽培の割合の１０%以上の増加かつ５０%以上	H27	70.4% （生産量10.5t） （契約量7.4t）	39.6	ha	10.5	t	7.4	t	H30	80.4% （生産量11.9t） （契約量9.6t）	40.6	ha	11.9	t	9.6	t	H30	100%	46.4	ha	12.6	t	12.6	t	生産量集計、販売証明書、契約書類等により検証	296	目標値を上回る作付面積・契約量・生産量を達成することが出来た。目標達成状況から鑑みてもまだ需要があることが確認でき産地としてさらなる拡大が期待される。	目標達成率が296%と目標を達成することができた。	
北杜市農業再生協議会	10	小淵沢	果樹（ブドウ）	果樹（醸造用ブドウ）産地形成の推進のための生産資材の導入 【資材】果樹棚、支柱等	契約栽培の割合の１０%以上の増加かつ５０%以上	H27	0% （0t/0t）	0	ha	-		-		H30	100% （0.5t/0.5t）	1.88	ha	0.5	t	0.5	t	H30	100%	1.88	ha	0.484	t	0.484	t	契約栽培の契約書により検証	100	契約栽培の割合目標を達成し、収量についてもほぼ計画通りに推移することが出来た。今後はさらに収量を上げられるように栽培技術の向上等に努められる。	地域協議会が事業の進捗状況を確認する等して、計画どおり栽培・契約ができたことから、目標を達成することができた。	